

2019年（平成31年）4月18日

相鉄×高島屋 アクセラレーションプログラム（第3期） 「横浜“初・発”イノベーションプロジェクト」参加募集 「高感度」かつ「好感度」な“まちづくり”の実現を目指します

相鉄グループ
株式会社高島屋

相鉄グループと株高島屋（本社・大阪市中央区、社長・村田善郎）は、今回で3回目となる「アクセラレーションプログラム」の参加者を2019年4月19日（金）15時から募集します。

相鉄グループと高島屋は、横浜を今よりもっと快適で過ごしやすく、賑わいのある街にすることで、来街者の皆さまにとって便利で楽しい時間を過ごせる「高感度」かつ「好感度」な“まちづくり”を目指しています。この“まちづくり”を実現するため、相鉄グループと高島屋が持つ人や施設などのリソースに、ベンチャー企業が持つ自由で創造性に富んだ発想を掛け合わせることで、街を訪れる方にこれまで体験したことのない商品・サービスを提供します。

今回は、これまでの自由テーマ枠に加えて、相鉄グループと高島屋の持つ豊富なリソースをもとに設定した横浜駅西口や商業施設の3つの課題テーマ枠「①街を変える」・「②商業施設を変える」・「③企業（相鉄グループ・高島屋）を変える」の募集も行い、3～5社程度の採択を予定しています。

これまでの第1期、第2期「アクセラレーションプログラム」では、応募の中から採択された企業と共に、公道を活用したイベントなどの実証実験や、IoT（モノのインターネット）を活用した飲食店などの空席情報表示サービスの導入などを行いました。

今後もベンチャー企業等との協業による「横浜“初・発”」となるイノベーションの創出を加速します。
概要は、別紙のとおりです。



アクセラレーションプログラム（第2期）授賞式の様子（左）（株）カウンターワークスのポップアップストア開催の様子（右）

アクセラレーションプログラムの概要

1. 内容

提示した課題にご応募いただく【課題テーマ枠】と、これまで通り相鉄グループ・高島屋のリソースを活用したビジネスプランを自由に応募いただく【自由テーマ枠】に分けて募集を行います。横浜の新たな“まちづくり”の実現に向けて、ベンチャー企業などの皆さまから多数の応募を期待しています。

【課題テーマ枠】

以下に掲げる“変える”をテーマとしたビジネスプランの募集

※詳しくはオフィシャルウェブサイトをご覧ください。

①街を変える	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて横浜駅に降り立った人が迷うことのない案内 ・街の防犯、防災機能の向上 ・来街動機の創出や定量的な誘客効果の測定 ・A R（拡張現実）、ゲーミフィケーションを活用した街の案内機能・サービス ・訪日外国人客の誘客策、利便性の向上
②商業施設を変える	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設の無人化対応（物流・接客・販売・決済・在庫管理） ・施設のメンテナンスコスト削減 ・キャッシュレスペイメント ・ビルメンテナンス（センシング・I o T） ・環境性能を上げる商業施設
③企業（相鉄グループ・高島屋）を変える	<ul style="list-style-type: none"> ・百貨店とホテル業との連携によるインバウンド獲得 ・百貨店と地域との連動 ・相鉄の商業以外の事業分野を訴求 ・百貨店やS C（ショッピングセンター）が今まで連携してこなかった領域との連携

【自由テーマ枠】

相鉄グループと高島屋のさまざまなリソースを活用した、以下の事業領域に関連するビジネスプランの提案

*百貨店業

*運輸業

*流通業

*不動産業

*ホテル業

*ビルメンテナンス業

*リフォーム業

2. プログラム参加のメリット

①横浜駅西口の百貨店「高島屋（横浜店）」と大型ショッピングセンター「相鉄ジョイナス」で導入または実証実験（テストマーケティング含む）が可能。

②相鉄グループならではの、多種多様な事業会社の業態もリソースとして検討可能。

※リソースは、自由テーマ枠およびオフィシャルウェブサイトをご覧ください。

③導入または実証実験の実績度が高い（2018年度は5社中4社）。その他事業化にむけて、情報交換も複数実施。

※「相鉄×高島屋アクセラレーションプログラム 主な取り組み実績」を参照

④募集と選定期間を前回より長くして、早く採択された企業においては、デモデイまで時間をかけてサポートを実施。

3. スケジュール（予定）

募集期間

2019年4月19日（金）15時～7月31日（水）

審査期間

※オフィシャルウェブサイトで募集を開始

※応募受付次第、随時審査を行い、採択予定企業数（3～5社程度）に達した場合は、募集期間の終了を早める場合があります。

※採択決定後はすぐにプログラムを開始します。

アクセラレーション

2019年4月19日（金）15時～9月下旬

※プロジェクトに採択された企業を対象に、リソースの提供・アドバイスなどの支援を実施

デモデイ

2019年9月下旬（予定）

4. 応募資格

- ・相鉄グループと高島屋とともに、横浜および横浜駅の活性化に向けて責任を持って積極的に関わっていただける方
- ・応募時点で法人登記が完了していること、または採択までに登記完了が見込めること（確認できる書面の提示が必要）
- ・横浜での事業立上げ（テストマーケティング含む）を行っていただけること
- ・アイデアだけでも可（実績不要）
- ・将来的に、相鉄グループまたは高島屋からの出資に関して話し合いをさせていただく場合あり

5. 応募条件

- ・相鉄グループと高島屋のリソースを活用したビジネスプランであることが望ましい
- ・横浜や横浜駅を元気にするようなアイデアであること、または課題を解決するアイデアであること
- ・テストマーケティングや事業展開が、横浜や横浜駅であればアクセラレーション期間後に全国展開するプランであっても可
- ・内容は公序良俗に反しないものに限る

6. オフィシャルウェブサイト

2019年4月19日（金）15時 開設予定

<https://www.sotetsu-takashimaya-ap.com>



オフィシャルウェブサイト

7. 内容に関するお問い合わせ

上記オフィシャルウェブサイトのお問い合わせフォームからお願いします。

相鉄×高島屋アクセラレーションプログラム 主な取り組み実績

① ㈱アクアビットスパイラルズ（第2期）

2019年4月19日から、相鉄ジョイナスの館内案内板など約40カ所に「スマートプレート」を設置。また相鉄フレッサインの一部店舗でも導入済み。非接触型ICタグを内蔵したプレート状のデバイスにスマートフォンをかざすだけで、特別なアプリをインストールすることなく簡単に情報が得られ、お客さまの利便性向上を図るとともに満足度の高いサービスを提供しています。



スマートプレート

② ㈱COUNTERWORKS（第2期）

(一社)「横浜西口エリアマネジメント」(所在地・横浜市西区、代表理事・千原広司)が2018年8月に横浜市内で初めて道路協力団体制度に基づく「道路協力団体」の指定を受けたことを活用し、横浜駅みなみ西口周辺の道路空間を活用して個性豊かな商品を扱う店舗が並ぶポップアップストアを2018年10月から毎月1回開催。横浜駅西口エリアの活性化に繋がっています。

③ ㈱コードミー（第2期）

2018年11月から12月まで相鉄ジョイナスにおいて、従業員ES策として実施。香りの行動および気持ちの行動変容調査として休憩所でアロマ実験を行いました。



コードミー

④ ㈱バカン（第1期）

2017年8月9日から10月2日まで、横浜駅西口の相鉄ジョイナスおよび高島屋横浜店において、各施設内に点在する複数のレストランやカフェの空き状況が一目でわかるデジタルサイネージを設置し、お客さまの店舗への送客状況や満足度を計測する実証実験を実施。カメラを用いた画像解析やセンサーにより、それぞれの店舗の空席や行列の状況をクラウドで一括管理し、その情報をデジタルサイネージへ表示し、お客さまに予め店舗の混雑情報をご案内するサービスを展開。

※2018年2月に日本初のサービスとして本格導入済み。



VACANを表示
デジタルサイネージ

⑤ MAMORIO(株)（第1期）

カバンなどに付けておくだけで、紛失した物をみつけることができる世界最小級（2017年3月時点）の落とし物追跡タグ。Beacon（Bluetooth® Low Energy）を活用し、「置き忘れ防止アラート」、「紛失場所の地図表示」、「ユーザーの相互検索によるクラウドトラッキング」の機能を使い紛失時に自分のスマートフォンを使って検索できます。「相鉄ジョイナス」、「高島屋横浜店」、「相模鉄道二俣川駅 お忘れ物センター」などにMAMORIOアンテナを設置。



落とし物追跡タグ
MAMORIO

※その他、以下の企業との実証実験実施に向け現在準備中。

(株) Super Duper 「Satisfood (サティスフード)」(スマートフォン等を利用したAI多言語レストランメニューガイド)